

【目的】

施設のバリアフリー整備に加え、ソフト面の取組として、全ての人が平等に参加できる社会や環境について考え、必要な行動を続ける「心のバリアフリー」への理解を促進し、共生社会の実現を目指す。

<目標> 都民の「心のバリアフリー」の認知度 令和3(2021)年度:**50%** ⇒ 令和12(2030)年度末:**75%**

【事業内容】

1 イメージしやすい キャッチフレーズとシンボルマーク を設定

2 「心のバリアフリー」HPの開設・更新

- ▶ 共生社会の実現を目指すための情報発信サイト(R5)

3 ターゲティング広告の実施

- ▶ 子供向け(R5)、若年層向け(R6)にPR動画を作成し、YouTube等で広告を実施
- ▶ 中高年層向け(R7)に紙媒体(新聞折込情報誌等)、ディスプレイ広告を実施

4 「心のバリアフリー」に関する解説動画の制作

- ▶ 子供向けの「心のバリアフリー」の学習を補助する解説動画(R5)
- ▶ バリアフリー設備の適正な利用を促す動画
 - ・公共トイレ(R5)、障害者等用駐車区画(R6)、視覚障害者誘導用ブロック、段差解消(店舗出入口)(R7予定)
- ▶ 見た目では分かりにくい障害者等への配慮、外国人へのコミュニケーションでの配慮に関する解説動画(R6)

5 普及啓発リーフレットの作成(公共トイレ、視覚障害者誘導用ブロック、障害者等用駐車区画)

6 ポスターコンクールの実施

- ▶ 小学生の部、中学生の部それぞれ最優秀賞を1点、優秀賞を5点選考し表彰

○ キャッチフレーズとシンボルマーク

ハートとハードで、バリアをなくそう!



○ 『心のバリアフリー』HP



○ 中高年層向け広告



○ 広告動画



○ 子供向け解説動画



○ バリアフリー設備の解説動画

